（別紙4）

事業所名　グループホームあさひ塩野室

作成日：　令和4年　9月　22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	少子化・コロナ禍の影響もあり、なじみの商店や行き来のあった児童館の閉鎖や運営推進会議の書面開催により、地域の方たちとの交流が難しい現実である。	地域の方たちとの交流が途切れないように努める。	同法人の特別養護老人ホームが地域の主体となっているため、話し合いながらつながりが途切れないように工夫をしていく。	12ヶ月
2	6	身体拘束委員会は実施している。内容的に物理的な内容が主になったている。	物理的、精神的の観点などより良い環境で生活していただけるように努めていく。	職員、利用者からの声を反映させながら、委員会を実施していく。	12ヶ月
3	35	同法人や隣設する施設、地域住民の協力体制が曖昧である。	同法人や隣設する施設、地域住民の協力体制を検討していく。	同法人や隣設する施設、地域住民の方たちと協議しながら、マニュアルを見直す。	12ヶ月
4	33	法人として看取り介護は実施しないことになってから、終末期や看取り介護の研修が行えていなかった。	予期せぬ事態で急変される場合もあり得ることを踏まえ、研修の実施に努める。	法人とも話し合い内容を見極めながら、研修を行っていく。	12ヶ月
5					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。